

第9期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

部会名	相談支援部会
開催日時	令和7年9月17日（水）18:00～19:00
記録担当委員	川田 義廣

【協議概要】

- 1 出席者 佐々木部会長、新井委員、金澤委員、田口委員、近江屋委員、川田（山崎委員欠席）
- 2 配布資料
 - 資料1 計画相談支援のしくみ
 - 資料2 相談支援事業所連絡協議会で協議された事項について
- 3 報告事項
 - 資料1 障害者支援法に関する厚労省ホームページ掲載の図を説明。
 - 資料2 相談支援事業の現況について幾つかの課題を説明。人員の不足、待遇改善、職場環境の整備、相談員従事者要件、研修、相談員の力量のばらつき、相談対応時間などの課題が指摘された。
事例検討においては地域体制強化共同支援加算を前提としたい。
- 4 協議事項
 - ・計画相談事業について、小金井市の行政としてミニマムの在り方を前提した議論でなければならない。
 - ・現在は、相談員は法定数としては充足しているが、実体は充足していない。
 - ・現実には、障害者が計画相談をセルフプラン出来ることはほとんどない。また介護保険外として線引きの出来ないことが多く、計画相談員の数は足りていない。
 - ・セルフプランをやれる仕組みが必要である。
 - ・コロナ以後、相談員の募集をしても応募者がいない。従事者要件や、研修などがハードルになっている。
 - ・相談員一人当たり35件／月が上限となっているが、事業所の業務に変動があり目標値の設定は難しく、兼務もあり採算上そこまで対応できない。介護保険の単金は1件約1万円である。
 - ・1件当たりの所要時間も15分から30分。障害者の場合はさらに長くなる。
 - ・ケアマネは36か所で80名くらいいるが、入れ替わりがなく高齢化している。若くても30代である。1事業所にケアマネが1人の場合もある。
 - ・事務作業や記録業務などにICTを導入して業務負担の軽減が必要である。

次回開催日程 令和7年11月12日 18:00～

